

こんな人がいた。初代新潟奉行・川村修就ながたかの孫。

徳川宗家第十六代当主・家達いえさとのお側仕え。

幕末の英傑・勝海舟のお気に入り。

維新後、もつとも早い時期に渡欧した画家。

歴代將軍像を描いた画家。

江戸の粋を知る、ハイカラなダンディ。

日本近代絵画の先駆者にして、異端の才人。

「日本の洋画」を追い求めた、最初の画家。

仕事と酒と人間を、こよなく愛した人。

独立独行、古今無双。こんな人がいた。

これも油絵、これが油絵。

これが日本、これも日本。

開館 30 周年記念

川村清雄展

古今 ● 東西 ● 混ざり合い

二〇二五年十一月二日〔火・祝〕～十二月二〇日〔日〕

開館時間・午前九時三〇分～午後六時
(観覧券の販売は開館三〇分前まで)

休館日：月曜日（ただし11月23日〔月・祝〕は開館）、11月24日〔火〕

展示替：11月25日〔水〕より、一部の作品が入れ替わります。

観覧料：一般1,000円（前売・団体800円）大学生・高校生800円（団体600円）中学生以下：無料

*（ ）内は前売・20名以上の団体・リピーター割引料金（半券提示で2回目は団体料金に割引）

* 障がい者手帳・療育手帳をお持ちの方は無料（受付でご提示ください）

〔前売券販売所〕新潟市美術館、新潟市新津美術館、新潟県立近代美術館、新潟県立万代島美術館、hickory03travelers、シネ・ウインド、トップトラベル新潟（DeKKY401内）、新潟伊勢丹、文信堂 CoCoLo 万代（新潟駅地下）、セブン-イレブン（セブンコード041-604）、インフォメーションセンターえん

主催：新潟市美術館、NST

後援：新潟日报社、朝日新聞新潟総局、毎日新聞新潟支局、読売新聞新潟支局、産経新聞新潟支局、BSN 新潟放送、TeNY テレビ新潟、UX 新潟テレビ21、NCV 新潟センター、エフエムラジオ新潟、FM PORT 79.0、FM KENTO、ラジオチャット・エフエム新津、エフエム角田山ぽかぽかラジオ



新潟市美術館
Niigata City Art Museum



『ヴェニス風景』明治20～30年代、新発田市蔵

開館30周年記念

川村清雄展

古今●東西●混ざり合い



川村清雄肖像(アメリカにて)1872年頃、東京都江戸東京博物館蔵

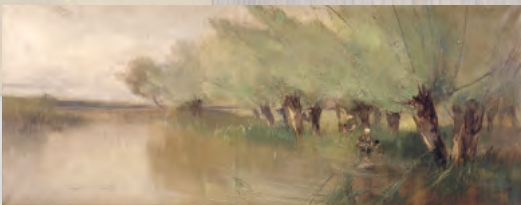
……無闇に西洋を取りたがるのは間違だ、日本人は日本を建て、往かなくちや往けない。……

……川村清雄「洋画上の関歴」一九〇六年では、「日本」とは何か？

川村清雄の問い、川村清雄の答え。

●川村清雄(1852～1934)は、初代新潟奉行を務めた祖父・修就(ながたか)を通じ、新潟にも深いゆかりを持っています●川村家には詩や絵を愛する趣味、そして開明的な気風があり、清雄は幼い頃から西洋の文物に親しみました●明治の日本人として最も早い時期に渡欧し、高度な画技を身につける一方で、「日本人の油絵とは何か」という大きなテーマに出会います●川村清雄は、近代日本洋画の先駆者であっただけでなく、和洋を独自に折衷させた、優れて前衛的な画家でもありました●本展では、箔地や漆板に描かれた作品や、屏風や扁額に仕立てられた作品など、一見すると油絵には見えないような、特異な制作を中心に展示します●近年新発田市で発見された作品や、このたび初めて公開される作品、独特なブックデザイン、時代の激動と新潟のまちの成り立ちを伝える川村家文書(新潟市歴史博物館蔵)なども紹介します●その画業は、新・旧、内・外の文物がダイナミックに混ざり合った、近代日本という場所でしか生まれ得なかったものです●川村清雄が表現した「日本」は、現代の私たちに何を示唆するのでしょうか●本展は、もうひとつの「近代」、もうひとつの「日本」の姿を考えさせる、貴重な視覚体験の場となることでしょう●

展示替：11月25日(水)より、一部の作品が入れ替わります。



【上】『水辺の楊柳』大正～昭和初期、公益財団法人徳川記念財団蔵
【右】『桜花に鈴』1933年、個人蔵

【左背景】『梅と植の静物』1929年以前、三重県立美術館蔵
【右背景】『濤』1926～1934年頃、平塚市美術館蔵



●2度目はオトク！リピーター割引●

本展半券のご提示により、2回目のご来場時は団体料金でご覧いただけます。

●NIIGATA アートリンク 2015 スタンプラリー開催中●

●関連イベント●

●ご近所ツアー「ナガタカ・クエスト」

案内人：野内隆裕さん
(日和山五合目館長、路地連新潟メンバー)

日時：11月8日(日)午前9時30分～正午ころ

内容：清雄の祖父にあたる初代新潟奉行・川村修就の足跡を、美術館周辺の徒歩圏内にたどります。

定員：20名(対象：小学校高学年以上)

参加無料・要事前申込：往復はがきに、ご希望の方全員(2名様まで)の氏名・年齢・住所・電話番号・FAX番号・メールアドレス、「クエスト希望」を明記し、新潟市美術館までお送りください。

締切10月26日(必着) 集合場所など詳細は、参加者にのみお知らせします。

●講演会「川村清雄、人と仕事」*

講師：丹尾安典さん(早稲田大学文化構想学部教授)

日時：11月14日(土)午後2時～(約90分)

●講演会「初代新潟奉行・川村修就の治政」*

講師：中野三義さん(新潟奉行川村修就研究者)

日時：11月22日(日)午後2時～(約90分)

●美術講座「テイスト・オブ・脂(ヤニ)～明治時代の『日本的洋画』～」*

講師：藤井素彦(新潟市美術館学芸員)

日時：12月19日(土)午後2時～(約90分)

*講演会・美術講座は、いずれも当館講堂にて・聴講無料・事前申込不要・定員100名・開場30分前

●学芸員のギャラリートーク

11月15日(日)、11月29日(日)、12月13日(日)

各日午後2時より・企画展示室にて(約30分、要観覧券)

●同時開催●

コレクション展Ⅱ 東と西が出会うとき

10月14日(水)～2016年1月17日(日)

●新潟市新津美術館の展覧会●

東アジア文化都市2015新潟市
中国・韓国陶磁展 愛知県陶磁美術館所蔵品による
10月24日(土)～12月6日(日)

東京工芸大学 写大ギャラリー開設40周年記念

土門拳写真展 一古寺巡礼

10月24日(土)～12月6日(日)



交通のご案内
■バスで(新潟駅万代口バスターミナルから)
A: [観光循環バス・朱鷺メッセ先回りまたは白山公園先回り]乗車約30分
→バス停[新潟市美術館入口]下車→徒歩約3分
※1日14便運行。
B: [C6八千代橋線]乗車約16分→バス停[西堀通八番町]下車
→徒歩約5分
C: [B1萬代橋ライン(BRT)など]乗車約10分→バス停[古町]下車
→徒歩約12分(約860m)
※最も便数が多いです。
※[古町]から[C6八千代橋線]または[C5西堀通線]入船営業所
行きに乗り継ぎもできます。
■タクシーで
新潟駅万代口から約10分
■自動車で(無料駐車場46台)
A: [高遠道路]日本海東北自動車道、新潟亀田ICを降り、磐都大橋経由で約20分
B: [国道8号線(新潟バイパス)]紫竹山ICを降り、磐都大橋経由で約15分

新潟市美術館
Niigata City Art Museum

〒951-8556 新潟市中央区西大畑町 5191-9
tel: 025-223-1622 fax: 025-228-3051
www.ncam.jp